

香取市東庄町病院組合立国保小見川総合病院事業会計

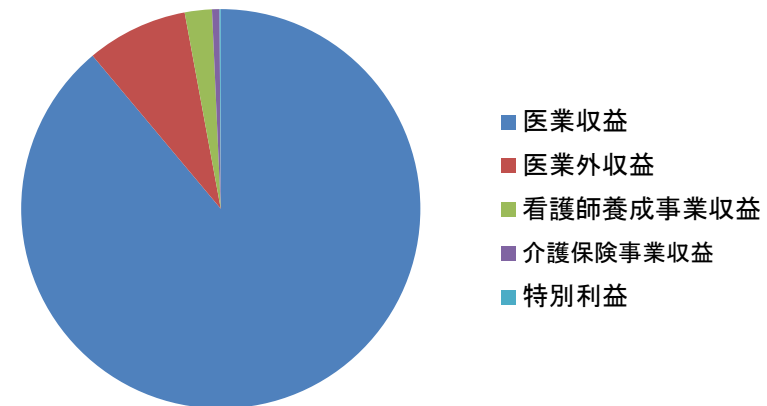
平成30年度決算状況

収 入

(単位：円)

項 目	決算額	構成比
医業収益	2,908,180,935	88.9%
医業外収益	267,663,479	8.2%
看護師養成事業収益	73,447,688	2.2%
介護保険事業収益	18,565,052	0.6%
特別利益	1,710,700	0.1%
合 計	3,269,567,854	100.0%

収入構成比率

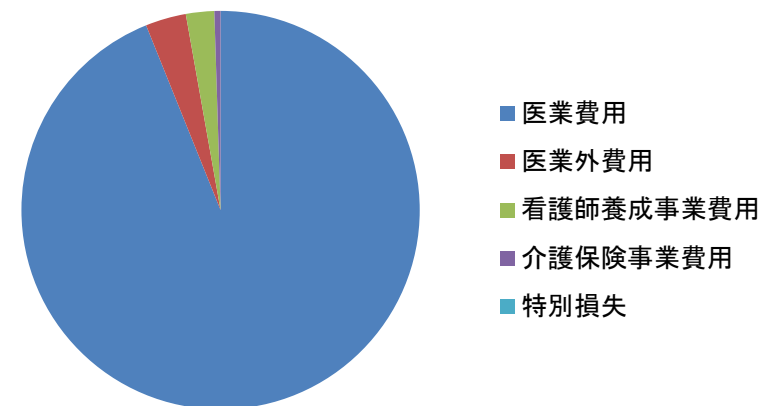


支 出

(単位：円)

項 目	決算額	構成比
医業費用	3,036,981,379	93.9%
医業外費用	107,043,557	3.3%
看護師養成事業費用	74,570,244	2.3%
介護保険事業費用	16,948,210	0.5%
特別損失	0	0.0%
合 計	3,235,543,390	100.0%

支出構成比率



香取市東庄町病院組合立国保小見川総合病院の経営状況

平成 30 年度の組合立国保小見川総合病院の状況について、お知らせいたします。

■業務の状況

平成 30 年度の患者数の状況は、入院延患者数が 3 万 8,392 人となり前年度に比較し 1,636 人減少し、1 日平均の入院患者数は、4.5 人減の 105.2 人となりました。

また、外来延患者数は、10 万 6,833 人となり前年度に比較し 314 人増加し、1 日平均の外来患者数は、437.8 人となりました。

■決算の状況

平成 30 年度の病院総事業収支は、3,402 万 4,464 円の純利益となりました。

収入における医業収益は、前年度に比較し 3.4%減の 29 億 818 万 935 円となり、総事業収益では 2.9%減の 32 億 6,956 万 7,854 円となりました。

一方で、支出における医業費用は、前年度に比較し 0.7%増の 30 億 3,698 万 1,379 円となり、総事業費用では、0.8%増の 32 億 3,554 万 3,390 円となりました。

収益では、前年度に比較し入院患者数が減少したことから、入院収益は低下しましたが、外来患者数は横ばいであったため、外来収益は前年度と同程度となりました。

また、医業費用は、非常勤医師等の増員により給与費が増額となったものの、経費や減価償却費などが減額していることから、前年度比較で微増している状況です。

■事業の状況

平成 30 年度の新病院整備工事は、躯体・鉄骨工事等を終え、内部・外部仕上げ工事に着手し、建物の約 8 割が完成しました。また、医療機器整備事業は、診療機能向上のため心臓カテーテル用ポリグラフや血液浄化装置などを整備しました。